
天を見下して、半回転した昨日の私

焼キ印

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天を見下して、半回転した昨日の私

【Nコード】

N4649L

【作者名】

焼キ印

【あらすじ】

ふんふんふんふん

私の掌に浮かんでいる小さなお月様がいきなり飛び跳ねては、半回転して私のほうへ振り返った。小さなそれは、私を馬鹿にしているような眼差しを向けてはけらけら笑い出して、そのまま地を見上げ、埋もれてしまった。その光景を呆けて見ていた私は、どうもそれがなんとなく気に食わなく思えて、遂には腹立たしくなって、何かを破壊したいという気持ちが抑えきれなくなってしまった。何を破壊しようか迷っていると、太陽が顔を出してきては、私のほうへドンドコドンドコ迫ってきて、終いには私の耳元まで近づいて囁いたのだ。

「自らを破壊してしまえば良いのではあるまいかね？」

その言葉を聞いた私は異様に興奮してしまつて、近くにおいてあった三日月を手にして、そのキチガイじみている三日月で自分の腹を突き刺して遊んだのだ。シハハハハ！こいつは愉快だなあ！私は世界で初めて三日月に刺された人となつたんだ！祝砲を放ちたい気分だ！……

…私は昨日の記憶を思い出して嘆いた。ああ、私はなんて面白くないことをしてしまったのだろうか…。私は後悔を頭上に置いて、沢山重ねた後、天を見下して半回転した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4649/>

天を見下して、半回転した昨日の私

2010年11月6日13時34分発行